

雜報

●會員敘任及辭令

敍從六位 正七位 木下益雄 (三月二十二日)

賜一等給 陸軍二等軍醫 金光三郎 (三月十九日)

正七位 矢野恒太 (三月十九日)

第一回國勢調查事業ニ關シ盡力歿カラス依テ金杯一箇ヲ賜フ

(三月二十二日)

- 任陸軍三等軍醫 望月久雄
- 任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 横田豐治
- 任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 三宅誠一
- 任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 越賀謙治
- 任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 乾清一
- 任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 美馬林一
- 任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 大石仁八
- 任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 伊澤好爲

三六〇

任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 百束昌言  
任陸軍三等軍醫 陸軍一等看護長 藤原角一 (三月二十八日)

敍勳三等授瑞寶章 從五位 久保信之  
敍勳六等授瑞寶章 從五位勳四等功五級 奈良眞三郎

兼任朝鮮總督府道技師 朝鮮總督府道慈惠醫院醫官陸軍三等軍醫正從五位勳四等功五級 奈良眞三郎  
敍高等官三等 從五位 久保信之 (三月三十日)

陸軍高等官六等 臺灣總督府醫學專門學校助教授 兼臺灣總督府醫院醫官從七位 杉山榮 (三月三十日)

任陸軍二等軍醫 陸軍三等軍醫正八位 正木豐  
任陸軍二等軍醫 陸軍三等軍醫正八位 內山友吾  
任陸軍二等軍醫 陸軍三等軍醫正八位 川北伊勢吉

陸軍運輸部本部附陸軍一等軍醫 丹羽浩  
臨時陸軍檢疫所所員兼勤被仰付 陸軍一等軍醫 九川千基 (四月一日)

補步兵第四十一聯隊附

岡山醫學專門學校教授 算 繁

岡山醫學專門學校附屬醫院院長兼岡山醫學專門學校附屬醫院第一內科醫長

岡山醫學專門學校教授 荒木蒼太郎

岡山醫學專門學校附屬醫院神經精神科醫長ヲ命ス

岡山醫學專門學校教授 齋藤精一郎

岡山醫學專門學校附屬醫院第二內科醫長ヲ命ス

岡山醫學專門學校教授 藤田秀太郎

岡山醫學專門學校附屬醫院眼科醫長ヲ命ス

岡山醫學專門學校教授 田中文男

岡山醫學專門學校附屬醫院耳鼻咽喉科醫長ヲ命ス

岡山醫學專門學校教授 好本 節

岡山醫學專門學校附屬醫院小兒科醫長ヲ命ス

岡山醫學專門學校教授 木下益雄

岡山醫學專門學校附屬醫院外科醫長ヲ命ス

岡山醫學專門學校教授 廣瀬耕一

岡山醫學專門學校附屬醫院第一內科醫長ヲ命ス

岡山醫學專門學校教授 中川小四郎

岡山醫學專門學校附屬醫院皮膚泌尿科醫長ヲ命ス

岡山醫學專門學校教授 原 正平

岡山醫學專門學校附屬醫院產婦人科醫長ヲ命ス

(四月一日)

敘正六位

從六位勳四等

若月館一

敘正六位

從六位勳五等

菊原政通

任陸軍一等軍醫

陸軍二等軍醫從七位

大內健太郎

任陸軍一等軍醫

陸軍二等軍醫從七位勳六等

甲斐義長

任陸軍一等軍醫

陸軍二等軍醫

野田諦俊

免本職補輜重兵第十五大隊附

陸軍二等軍醫

北本宗治

免本職補輜重兵第十五大隊附

陸軍二等軍醫

北本宗治

青島陸軍病院附兼陸軍運輸部本部附被免

陸軍二等軍醫

北本宗治

補築城部父島支部附

陸軍二等軍醫

北本宗治

免本職

陸軍二等軍醫

大內健太郎

五級俸下賜

陸軍官等位勳功

岡田順造

勳等 賜金

陸軍官等位勳功

岡田順造

賜金

陸軍官等位勳功

岡田順造

賜金

陸軍官等位勳功

濱島秀梧

賜金

陸軍官等位勳功

濱島秀梧

賜金

陸軍官等位勳功

出射一郎

賜金

陸軍官等位勳功

出射一郎

賜金

陸軍官等位勳功

難波秀太郎

賜金

陸軍官等位勳功

難波秀太郎

賜金

陸軍官等位勳功

難波秀太郎

賜金

陸軍官等位勳功

難波秀太郎

賜金

陸軍官等位勳功

難波秀太郎

賜金

陸軍官等位勳功

難波秀太郎

賜金

陸軍官等位勳功

難波秀太郎

奧宮松枝 (九年十一月一日)

●醫學士稱號許可 岡山醫學專門學校にては去月二日論文檢定の上左記の兩君に對し岡山醫學專門學校醫學士の稱號を用うることを許可したり

藤戸 正孝 藤本 茂治

●岡山醫學專門學校移轉 豫て岡山市外鹿田に新築中なりし岡山醫學專門學校は大部分の工事を竣りしを以て本月十四日全部新校舍に移轉せり因に記す同地は本年三月一日より岡山市に編入し岡と稱するに至れり

●岡山醫學專門學校附屬醫院 岡山縣病院は今回同縣より文部省に寄附せるを以て勅令第四十九號にて文部省直轄諸學校官制中の改正を爲し岡山醫學專門學校附屬醫院を置き本月一日より之を施行する旨發表せり因に同院は本月一日より新醫院に於て各科の診療に従事し入院をも許可し居れり但し精神、神經科を除き各科共當分の内、内山下舊病院に於ても診療及入院を許可し居れり

### ●會員動靜

○山崎翁君 は歐洲へ留學の爲め本月十九日神戸發の因幡丸にて出發せられたり

○戸田亨君 は五月三日神戸發の賀茂丸にて英、獨、米へ二箇年の豫定にて留學せらるゝ由

○松崎章太郎君 は今般東京市麻布區長に就任せられたり

○平松直君 豫て羽太銳治博士に就き泌尿生殖器科及花柳病科を研究し居られしか今般東京大學醫學部に入學し研究に従事せらる

○三藤香吉君 は豫て東京市養育院に於て内科學研究中の處今回東京帝國大學醫學部法醫學教室に入り三田博士に就き血清化學を研究せらるゝ由

○仁木久雄君 は今般神戸市沖町三丁目熊谷醫院に勤務せられたり

○吉川朋來君 は豫て當市福武醫院に勤務し居られしか今回姫路赤十字社支部姫路病院に轉勤せられたり

○大城眞郷君 は豫て佐賀市富岡婦人病院に勤務し居られしか今回兵庫縣加古川町奥産科婦人科醫院に轉勤せられたり

○井上易憲君 は今般長野縣上諏訪町郡立病院を辭し歸郷せられたり

○島田豐文君 は豫て合同紡績會社に勤務し居られしか  
 今回大阪府豊能郡豊津村三國紡績會社醫長に就任せられ  
 たり

○富山四郎君 は今般一年志願兵の勤務を了へ神戸市北  
 長狹通り谷内科醫院に勤務せられたり

○佐野有俊君 は昨年來兵庫縣御影町東明病院に勤務し  
 居られしか去月末辭職せられたり

○阿部幸祐君 は今般神戸市瀧道に於て開業せられたり  
 ○林昌君 は豫て東京市杏雲堂病院に勤務し居られしか  
 今回辭職本縣吉田郡津山町に於て開業せられたり

○松尾潔君 豫て岡山醫學專門學校附屬醫院外科に勤務  
 し居られし同君は今回其職を辭し山口縣阿武郡大井村に  
 於て開業せられたり

○登坂清喜君 豫て岡山醫學專門學校附屬醫院に勤務中  
 の同君は今般辭職山口縣三田尻驛前に於て開業せられた  
 り

○戸澤三策君 は今般北海道函館區鶴岡町に移轉開業せ  
 られたり

○原藏太君 は今般佐賀縣三養基郡田代昌元寺町に轉居

せられたり

○坪井峻君 は豫て佐賀縣東松浦郡嚴木村貝島嶺山病院  
 に勤務し居られしか今般同院を辭し千葉縣大原町に於て  
 開業せられたり

●大分通信 四月十日九州醫學會總會の當日午後六時よ  
 り大分市蓬萊公園内蓬萊俱樂部に於て、近縣在住岡山醫  
 賢同窓生懇親會を開く、發起人名代織部寛一郎君の挨拶  
 に次ぎて開宴大いに牛飲馬食す、宴酣なる頃山谷徳次郎  
 君の六合醫會の説明あり、午後十一時各自十二分の歡を  
 つくして散會す。當日の出席者次の如し（順序不定）

- |      |        |        |        |
|------|--------|--------|--------|
| 東京市  | 山谷 徳次郎 | 永松 晋次  | 黒川 幸二郎 |
| 福岡縣  | 永富 恕平  | 三野原愛四郎 | 溝口 喜六  |
| 熊本縣  | 松岡 周菴  |        |        |
| 鹿兒島縣 | 森下 忠恕  |        |        |
| 宮崎縣  | 松尾 壽太  |        |        |
| 大分縣  | 今山 茂   | 武田 俊一郎 |        |
|      | 伊達 珍馨  |        |        |
|      | 高橋 政太郎 | 岩井 龜治  | 飯田 良雄  |
|      | 伊藤 一   | 大島 重雄  | 一宮 一徳  |
|      | 井上 明   | 織部 寛一郎 | 渡邊 善朝  |
|      | 本田 咄一  | 立川 直   | 竹内 岩雄  |
|      | 葛城 良一  | 土屋 直巳  | 楠原 正香  |
|      | 高橋 良雄  | 松岡 松治  | 橋成 晋一  |
|      | 山口 奎郎  | 安藤 謙三  | 膳所 榮十  |
|      | 阿南 一夫  |        |        |